









感染症に気をつけよう!



平成26年
【12月号】

横浜市内の感染症 流行状況

感染症	流行状況		説明 【 】は解説付き既刊号 ← クリック
インフルエンザ	 流行	 増加	例年より早く 11月下旬に流行期 に入り、学級閉鎖も増えています。 ワクチンと手洗い がいで予防しましょう。【11月号】
RSウイルス感染症	 流行	 横ばい	冬の風邪の一つで、乳幼児や免疫力が弱まっていると重症化し易いです。 予防には手洗い が最も大事です。【10月号】
感染性胃腸炎	 やや流行	 やや増加	集団感染も報告されています。例年、冬に流行するので注意が必要です。 手洗い・消毒・加熱 で防ぎましょう。【12月号】
伝染性紅斑 <small>こうはん</small>	 やや流行	 やや増加	リンゴ病とも呼ばれ、妊婦の感染では胎児に影響が出ることがあります。 予防には手洗い が大切です。【6月号】

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- 地図の色が濃いほど、患者の報告数が多いことを表していて、市内各区ごとの流行の広がり方が分かります。
- 高齢者ではインフルエンザにかかると、その後、肺炎にかかり易くなってしまいます。予防には、**インフルエンザワクチン**だけでなく、**肺炎球菌ワクチン**も受けましょう。
- もし症状が出てしまったら、他の人にうつさないよう、**咳エチケット**を守り早目に受診しましょう。

